

n e i h h o u

你好

香港日本人学校赴任通信 No.2

香港日本人学校小学部大埔校 教諭 永井 修

香港プチ紹介 ~いろいろな側面から~

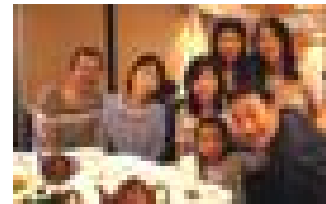
公用語の「広東語」を学ぶ

ここ香港の公用語は、「広東語」。(英語もそうですが)いわゆる「北京語」ではなく、「中国語のなまりが強くなったもの」どころのちがいではありません。

ニーハオも、広東語では「ネイハウ」なのでから…。

英語だけでもこの国では過ごせますが、やはり広東語を使うことで、現地の人たちは心を開いてくれます。

ということで、こちらへ来てからは、広東語を学ぶ日々。



広東語の先生と一緒に飲茶
広東語の実施体験!?

広東語の先生に学校へ来てもらい、希望者数名で毎週90分のレッスン。時には、香港文化を学ぶということで、一緒にお出かけ。「Hello.」ではそれなりにしか心を開かない香港の人も、「你好」「唔該晒(ありがとうの意)」等々の挨拶をきっかけに、笑顔でにこやかに対応してくれる香港の方々に、何度も心があたたまりました。



ソフトボール! そして、アイスホッケー

香港には野球文化がないのですが、ソフトボール(壘球)人口は、それなりにあります。日本人のチームもかなりあり、それに所属して日曜早朝は汗を流しています。

さすが香港!と思うのは、「インターハイ出場経験者」「甲子園準優勝経験者」などなど、なかなかのハイレベルぞろいということ。

このような機会で、学校外の方々と関わりつつ、様々な交流が出来ることが、一番の収穫です。

これも「視野を広げる」活動の一環です。

また、亜熱帯の香港にも「アイスホッケーリーグ」があることにも驚き!早速北海道から防具一式を送ってもらいましたが...、1回しか試合には行っていません・・・。



ドラゴンボート～龍舟～

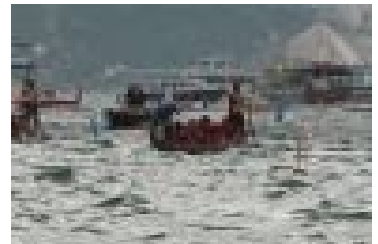
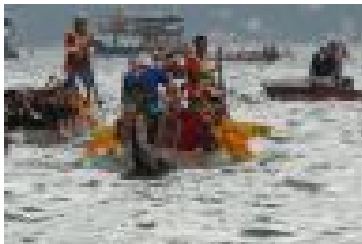
香港では、毎年端午節を祝うドラゴンボートフェスティバルが開催されます。

もともと、端午節は悪霊を追い払う夏の行事でしたが、現在は、宮廷腐敗に抗議し入水自殺した中国・楚時代の政治家で詩人の屈原を称える祝日となっています。

このドラゴンボートフェスティバルには、我が大埔校でもチーム編成し、毎週土曜日に全身がパンパンになるほど練習し本番に臨みます。(私は、恐れ多くも先導太鼓も叩かせていただきました)

今年(2009年)は、目標を超える順位で勝ち抜きましたがやはり専門的にやっている人たちには敵わず・・・。

でも、我が身で香港文化を感じ取り、体験する素晴らしい機会です。

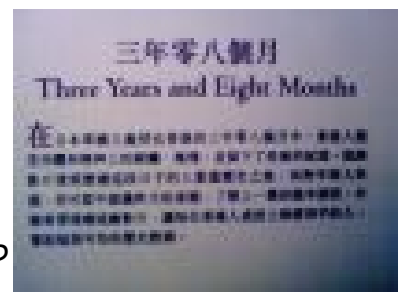


香港歴史博物館

香港歴史博物館には、毎年6年生が歴史学習の導入部分でかけます。

香港は、ご存知の通り過去に日本軍が3年8ヶ月占領した歴史があり、博物館内のブースの一つが、「日本占領期」となっていました。(ただ、日本人学校で見学に行った日から工事となり、見られませんでした・・・)

日本を外から見る・・・という点では、日本ではなかなか得られない視点から見る事が出来る貴重な場所のひとつです。



香港にもサクラ

香港日本人学校大埔校には、開校時(1997年)に植樹されたサクラの木が、1年に3回咲きます。亜熱帯では、こんな咲き方をするのか!と驚きます。

思わずバス下校見送りの後、携帯電話のカメラで撮ってしまいました。本校の校章にも描かれている桜。

やはり、「日本」を感じさせます。

